

経 営 改 善 計 画

平成28年度～平成32年度

平成28年3月

公益財団法人あいち男女共同参画財団

経営改善計画

1 はじめに

公益財団法人あいち男女共同参画財団（以下「財団」という。）は、男女共同参画社会の実現に資することを目的に、平成8年4月、「財団法人あいち女性総合センター」として設立され、愛知県女性総合センター（ウィルあいち）の管理運営と各種事業を行ってまいりました。

平成18年4月からは、ウィルあいちの管理運営が指定管理者へ移行したことに伴い、名称を「財団法人あいち男女共同参画財団」へ変更しました。

平成23年4月からは、ウィルあいちの指定管理者であるコングレ・愛知グループの一員として、情報ライブラリー運営と情報提供事業を行ってきており、平成24年4月に、公益財団法人へ移行を行い、現在に至っています。

この間、「愛知県男女共同参画推進条例」の基本理念に沿って事業を実施し、愛知県の男女共同参画推進の中心的な役割を担ってきました。

これからの5年間、引き続き指定管理者の一員として情報提供事業等を行うとともに、愛知県の男女共同参画推進のために取り組んでまいります。

今回、平成22年3月に策定した経営改善計画が平成27年度で計画期間を終了することから、平成32年度までの5か年を計画期間として経営改善計画を策定しました。

財団を取り巻く状況は一層厳しいものになると予想されますが、各種団体、企業等との連携を深め、より公益性の高い事業展開を図るとともに、一層の経営改善を行ってまいります。

○計画期間

平成28年度～平成32年度

○計画内容

経営改善方針、経営目標、具体的な方策

2 経営改善方針

(1) 男女共同参画を推進する先駆的、広域的な事業の展開と協働の促進及びネットワークの強化

セミナーやイベントの開催及び情報提供事業を通じて県内の男女共同参画を推進する先駆的、広域的な事業を展開するとともに女性団体、NPO、市町村、企業、大学等との協働の促進及びネットワークの強化により、「あいち男女共同参画プラン2020」の計画の推進に貢献します。

(2) 男女共同参画社会実現に役立つ情報の収集と提供

男女共同参画情報の収集に努めるとともに、県民、女性団体、企業関係者、行政職員、研究者、学生など、それぞれのニーズに応じた情報提供を行います。

(3) 自主性の向上と経営の効率化

受講料、助成金などの事業収入を確保し、引き続き経費節減に努めるとともに、職員の専門性の向上を図り、財政と組織両面の自主性・自立性を高めます。

3 経営目標

経営改善を具体的に推進するため、次の目標を設定して取り組みます。

- (1) 先駆的、広域的な事業の実施と協働の促進及びネットワークの強化
- (2) 情報収集及び提供
- (3) 専門性の向上と効率的な組織運営
- (4) 自主財源の確保と経費節減

4 具体的な方策

(1) 先駆的、広域的な事業の実施と協働の促進及びネットワークの強化

男女共同参画に関する理解の促進及び啓発等の事業について先駆的な取組を進めるとともに、これまでに育成してきた人材、ネットワークを活用し、県内の男女共同参画に関する活動の支援や様々な団体、企業等との協働による広域的な展開を図ります。

また、女性団体や企業等との協働の促進とネットワークづくりの強化を図るための事業を展開します。

○ 取組項目

ア あいち国際女性映画祭の開催を通して、男女共同参画意識の普及啓発に、より一層努めます。

イ 多様な男女の社会参画を促進する先駆的・広域的な講座・セミナーを実施します。

ウ 女性団体、NPO、市町村、企業、大学等との「協働」や「ネットワーク」による事業展開の拡充を図ります。

○ 数値目標

年 度	26 実績	28 目標	29 目標	30 目標	31 目標	32 目標
あいち国際女性映画祭入場者数（人）	12,733	13,100	13,200	13,300	13,400	13,500
様々な困難を抱える人々への理解を促進する事業実施数（件）	—	1	1	2	2	3
主催講座の効果度（%）	77	78	78	79	79	80
共催・協働事業実施数（件）	29	31	32	33	34	35

※主催講座の効果度は、事業実施により事業目的に合った効果がどれだけあったかを各講座ごとに項目を設定して、5段階評価のアンケート調査を実施し、該当項目の上位2指標の割合で算出する。

（2）情報収集及び提供

ウィルあいちの指定管理者の一員として、引き続き情報ライブラリーの運営や情報提供事業を実施し、男女共同参画社会実現のための情報の収集及び提供を行います。

○ 取組項目

- ア これまでに積み重ねてきた実績や女性団体等との協働関係を生かして、男女共同参画推進に役立つ資料の収集提供や企画展示の充実を図ります。
- イ インターネットの活用、女性団体、NPO、市町村、企業、大学等との連携による情報発信の充実を図ります。

○ 数値目標

年 度	26 実績	28 目標	29 目標	30 目標	31 目標	32 目標
情報ライブラリー利用者数（人）	123,514	124,000	124,500	125,000	125,500	126,000
情報ライブラリー図書貸出数（冊）	29,146	29,200	29,300	29,400	29,500	29,600

（3）専門性の向上と効率的な組織運営

先駆的、効果的な事業を実施できる専門性の高い組織づくりと効率的な運営を進めます。

○ 取組項目

- ア 職員の業務遂行能力及び専門性の向上のため、職務を通じて、知識・技能等を修得させるとともに、外部研修へ積極的に参加させます。
- イ 業務の工夫・改善を絶えず行い、効率的な運営を進めます。
- ウ 事業規模に応じた組織の弾力化を検討します。

○ 数値目標

年 度	26 実績	28 目標	29 目標	30 目標	31 目標	32 目標
職員の外部研修参加回数 (回)	6	7	8	9	10	11

(4) 自主財源の確保と経費節減

収入の確保及び支出の削減により経営の効率性、自立性を高めるよう努めます。

○ 取組項目

- ア 社会的なニーズを反映した効果的な事業展開を図り、受講料、助成金などの事業収入の確保に努めます。
- イ 職員のコスト意識を徹底させ、経費節減を一層進めます。

○ 数値目標

年 度	26 実績	28 目標	29 目標	30 目標	31 目標	32 目標
財団自主事業費に占める事業収入割合 (%)	24	24	24	24	25	25